◎カルタン OD 錠，○沈降炭酸カルシウム錠「三和]，△沈降炭酸カルシウム　[内]

【重要度】　【一般製剤名】沈降炭酸カルシウム（U）　Precipitated Calcium Carbonate　【分類】制酸剤・リン吸着剤・Ca 補給剤

【単位】◎錠：500mg/錠（カルタン OD，「三和]），△250m（カルタン OD，「三和]），△原末 g

【常用量】

■Ca 補給・リン吸着：3g/日

■胃・十二指腸潰瘍、胃炎，上部消化管機能異常：沈降炭酸 Ca として 1～3g/日を 3～4 回に分割投与

【用法】1 日 3 回食直後

【透析患者への投与方法】1～3g［分 1～3 食直前または食直後］（5）

【その他の報告】カルシトニンと併用すると（炭酸ランタン単独と同程度に）高 Ca 血症を予防できる（Wei Y, et al: Ther Apher Dial 27, 2014）

【保存期 CKD 患者への投与方法】1～3g/日を食直後に投与（1）Ca 補給の目的では食間に投与することもある（1）

【特徴】Ca 補給もしくはリン吸着を目的に投与される．1g 中に 400mg（20mEq）の Ca を含む（含有率が高い：40%）．低酸症では吸収が低下する．

【主な副作用・毒性】高 Ca 血症，アルカローシス，便秘など

【安全性に関する情報】原則として透析患者には絶食時は服用しないように指導する（5）

【排泄】腎で 20%排泄（Ca の吸収の度合いや骨病変・腎障害の存在により変化する）、糞中に 80%排泄されるが、そのほとんどが吸収されなかったもの（U）

【蛋白結合率】血漿内で 45%（U）

【MW】100.09

【透析性】該当しない（5）

【O/W 係数】溶けない（11）

【相互作用】H2 拮抗剤と併用により P 吸着能が低下（腎と透析 41: 695-8, 1996）鉄剤の吸収を妨げ，65mg の Fe と 3g の炭酸カルシウムを併用すると Fe の bioavailability は 81%に有意に低下する．酢酸 Ca では 73%に有意に低下し，セベラマーでは有意な変化なし（Pruchnicki MC, et al: J Clin Pharmacol 42: 1171-6, 2002）

【主な臨床報告】炭酸ランタンに比べて心臓弁石灰化促進作用は確認されなかった（Watanabe K, et al: BMC Cardiovasc Disord 2020 PMID: 32000687）

【備考】経口投与された Ca の 1/5～1/3 が小腸で吸収されるが、吸収率は VD の存在、腸管内の pH、繊維やフィチン酸などの存在により変化する。

【更新日】20240530

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。